

I 教育目標	
<p>これからのグローバルで変化の大きい社会において、たくましく、よりよく生きようとする力を身に付けることができるよう、次の目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 自ら考え行動する子 ○ 思いやりのある子 ○ 明るくたくましい子 	

II 経営方針	
	<p style="text-align: center;">「みんなでつくる、みんなが楽しい小名木川小学校」</p> <p>児童、保護者、地域の皆様、そして教職員など、学校に関わるすべての人にとって居心地がよく、実りある「楽しい学校」を目指す。一部の人だけでなく、一人一人が主役となって学校づくりに関われる環境を整える。そのための重点目標は以下の3点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲が高まる楽しい授業づくり ○安全・安心の居場所づくり ○教員の働き方改革 <p>来年度には、開校 80 周年および新校舎の落成という大きな節目を控えている。今年度の教育活動を確実にしながら、次年度に向けた準備を進めていく。</p>
目指す学校像	
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な学習内容を身に付け、すすんで課題に取り組むとともに、社会規範を守って、自ら考え行動する子 ○人間性豊かな心を持ち、自他の生命を尊ぶ態度を身に付け、協力して行動しようとする子 ○活力ある生活を送る態度を身に付け、自ら心身の健康の保持・増進に努める子
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○教育に対する熱意と使命感をもつ教師 ○豊かな人間性と思いやりのある教師 ○こどものよさや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師 ○組織人として積極的に協働し、互いに高め合う教師
経営理念	<p><確かな学力の向上></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) おなぎがわスタイルの実践 (2) こどもが主役の授業へ (3) ICTの効果的な活用 <p><思いやりの心を育む></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 心のバリアフリー (2) 「聴くこと」の徹底 <p><いじめ・不登校のない安心できる学校へ></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「チームおなぎ」でのサポート (2) いじめ未然防止教育 (3) 温かな言語環境づくり <p><特色ある教育活動></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) こどもが主役の「展覧会」 (2) 健康・体力の増進（3 チャレ週間） <p><教員の働き方改革></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 業務の効率化と IT 活用 (2) 風通しのよい職場づくり

Ⅲ 経営目標

重点領域1		意欲が高まる楽しい授業づくり
中期経営目標	・「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4ステップを基本とし、子どもたちが自ら「考えたい!」と思えるような、意欲的に学び合える授業を展開する。	
短期経営目標	・教員からの指示を待つのではなく、子ども自身が学び方を選択できる場面を増やし、主体性を引き出す。 ・一人一台端末を活用する機会を増やし、一人一人のペースに合わせた最適な学びを提供する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子ども側）
1	子どもたちが自ら「考えたい!」と思えるような、意欲的に学び合える授業を全教員が100%実施する。	学校評価の児童アンケートで「学校で学習することが楽しい」と回答する子どもを85%以上にする。
2	全教員が授業において一人一台端末を活用させる機会を増やし、子ども一人一人のペースに合わせた最適な学びを100%提供する。	一人一台端末を活用して自分のペースに合わせた最適な学びができる子どもを90%以上にする。
3	国語の「読むこと」領域が充実した授業を全学級で100%実施する。	学校図書館での本の貸出冊数を昨年度比1.2倍以上にする。

重点領域2		安全・安心の居場所づくり
中期経営目標	・お互いを「さん」付けで呼ぶなど、日常から丁寧な言葉遣いを心がけ、子どもたちが互いを尊重し合える温かい風土を醸成する。	
短期経営目標	・特別支援学級との交流や、学年を越えた縦割り班での活動を通して、多様な人々と共に生きる姿勢を育てる。 ・「聴くことは思いやり」を合言葉に、相手の気持ちや立場を想像して関わる力を養う。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子ども側）
1	子どもたちが自ら課題を見だし、話し合いを通して合意形成を行い、協力して実践し振り返る学級活動を全学級で100%実施する。	学校評価の児童アンケートで「友達と仲良く生活している」と回答する子どもを95%以上にする。
2	特別支援学級との交流や、学年を越えた縦割り班での活動と振り返りを全学級で100%実施する。	学校評価の児童アンケートで「他の学年と一緒にする活動は楽しい」と回答する子どもを80%以上にする。
3	「聴くことは思いやり」を合言葉にした聞き方の指導を全教員が100%実施する。	学校評価の児童アンケートで「先生や友達の話最後まで聞いている」と回答する子どもを90%以上にする。

重点領域3		教員の働き方改革
中期経営目標	・教員の心身の健康と、子どもと向き合う時間を確保し、授業の質向上といじめ・不登校ゼロの達成が可能な一人一人に寄り添う教育を実現する。	
短期経営目標	・事前の相談を徹底して会議時間を短縮するほか、データ共有によって、授業準備の質を高めつつ教員の負担を軽減する。 ・教職員同士が互いの良さを認め合い、一人で抱え込まずにチームで相談・協力して対応できる体制を整える。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子ども側）
1	授業準備の時間を確保し、全教員が質の高い授業を100%実施する。	学校評価の児童アンケートで「授業はわかりやすい」と回答する子どもを85%以上にする。
2	子どもと向き合う時間を確保し、全教員が子どもたちの理解者として100%支援していく。	いじめが100%未然に防止され、不登校の新規出現率を0にする。